

街歩きで「豊橋の魅力探し」

市電沿線をフィールド調査 中吊り広告で発表

慶応大学環境情報学部・加藤文俊研究室の学生・院生約20人が、29、30両日、豊橋市内の市電沿線エリアで、フィールド調査を行う。インタビュー取材や街歩きを通じて、豊橋の魅力探しを行い、市電の中吊り(つり)の広告で発表する。豊橋観光コンベンション協会(磯村直英会長)が同活動を協力する。(杉浦文夫)

慶応大・環境情報学部の学生たちが29、30日

同研究室では、学生たちが全国各地に向向き、「ヨソ者」の視点で地域資源を発見・再発見し、その街の魅力を地元へ還元することを目指している。これまで、葛飾柴又(東京都)▽金沢市・5タウンズ中心エリア(石川県)▽坂出市(香川県)▽湘南・江ノ電沿線(神奈川県)▽函館市(北海道)▽宇宿

(鹿児島県)などで、フィールドや音声ガイド、CMビデオ、電車の中吊り広告などに成果をまとめた。人々の集う「場」をテーマに、カメラ付き携帯電話はじめモバイル機器を活用しながら、風景や地域コミュニティに溶け込み、調査結果は出来る限り、具体的な形にデザイン

し、公開・流通させる。今回、29日に豊橋市内を自由に観察し、取材や撮影。30日午後2時までに、パソコンで中吊り広告を作成し、同3時ごろ、貸し切り市電車両内で発表。同コンベンション協会や市の職員、地元協力者と意見交換する。また、学生らが作成した中吊り広告は、2週間にわたり、市内に「中吊りギャラリー(豊橋編)」として掲出される。

同協会では「学生の感性が、地元では感じることの出来ない新たな観光資源の発見につながるのでは」と、期待している。

<麻生>

■ペルー訪問と初会談へ。
■麻生首相が国連総会採決
■日ペルー首意。来年2月拉致問題への大統領、ブル

<日本と>

■投資協定、政府が合意。

■出産、医療識示す。中医

<「内閣」>

■幹部人事を来年度設置見

■ヒラリー・次期米政権の
■オバマ次期総裁を起用へ
■次期政権のユーメキシコ
■オバマ氏の高一貫のシド

■APEC首と実体経済懇
■中国主席、会議開催のベ

■NYダウ、日ぶり8000

ル会
と語った。
に操ったり、風船で

愛大文
公開

☆…「ルルルルル」
…」。携帯電話が鳴

会見の回数はその約
2倍。そのたびに携

